



こちら 町長室

寄居町長
花輪 利一郎

新しい生活様式を

令和2年度に入り、早くも4カ月が経過いたしました。この間、なんといっても新型コロナウイルス関連の対応などが中心となる極めて異例の中での行政運営となりました。一旦は、落ち着いたかに見えた全国の感染状況ですが、7月に入り、特に東京都を中心に、埼玉県を含む首都圏で大幅な増加を見せております。6月からは、経済活動も活発化し、これからという矢先の状況の変化に、今一度気を引き締める必要があると感じております。



このような中、政府が提唱する「新しい生活様式」を町民の皆様一人一人が意識し、生活していくことが何よりも重要であると考えておりますので、引き続き、感染防止対策について、皆様のご協力をよろしくお願い申し上げます。

さて、町の事務事業につきましても、この新型コロナウイルス感染症のまん延により、当初予定していた事業等に多大な影響が出ております。事業の中止や変更、見直しを含め、しっかりと現状を把握し、行政運営に努めてまいります。

また、令和2年7月豪雨により、九州を中心に甚大な被害もたらされました。被災された方には、心からお見舞いを申し上げますとともに、一日も早い復興を願っております。これからは、台風が発生しやすい時季となります。町といたしましても、コロナ禍での避難所等の開設を想定し、準備をしておりますが、町民の皆様におかれましても、本誌7月号でお知らせしたとおり、分散避難や、衛生用品の用意など、各自が十分な準備をお願いします。

夏本番を迎え、暑い日が続きます。これまでどおり、感染症対策をしっかりと行っていただき、同時に、人がいない場所ではマスクを外すなど、熱中症にも十分注意していただきたいと思っております。

募集 募集します！ 寄居町まちづくり計画策定町民会議委員

寄居町まちづくり計画策定町民会議は、本年度から策定に向けた準備を進めている「第6次寄居町総合振興計画・後期基本計画」の調査・研究や意見・提言を行う機関です。委員は15人以内で組織され、このうちの「公募による町民」枠の6人を募集します。

▶**応募資格**／町内に住所を有する満20歳以上の方で、町のほかの審議会や委員会等の公募による委員になっていない方

▶**応募人数**／6人

▶**任期**／委嘱の日から令和4年3月31日まで

▶**会議**／年2回程度(平日の日中、2時間程度)

▶**謝金**／町の規定に基づき支給(会議出席者)

▶**応募方法**／総合政策課、役場1階総合案内で配布する応募用紙に必要事項を記入のうえ、添付書類とともに同課へ持参、または郵送、ファックス、Eメールで提出してください(Eメールの件名は「応募 まちづくり計画策定町民会議委員」としてください)。なお、応募用紙は町公式ホームページからも取得できます。

▶**添付書類**／「10年後の寄居町の姿」をテーマとした意見、考えをまとめたもの(800字以内とし、手書きの場合は400字詰め原稿用紙2枚以内、パソコンで作成する場合は、A4判1枚で印刷できる設定)。Eメールに添付する場合は、ワード形式のファイルとしてください。

▶**募集期間**／8月11日(火)～31日(月)

- ※持参の場合、開庁時にご持参ください。
- ※郵送の場合、8月31日消印有効
- ※ファックス・Eメールの場合、8月31日送信有効

▶**選考方法**／応募理由・作文から推量される考え方や、性別・年齢・地区などのバランスを考慮し、審査により決定します。

▶**選考結果**／応募者全員に文書で通知します。

提出先・問い合わせ

総合政策課
〒369-1292住所記載不要
☎581・2121内線462
FAX581・1366
Eメール sogoseisaku@town.yorii.saitama.jp



お知らせ ご協力ありがとうございました！ 緑の募金(家庭募金)

令和2年度の緑の募金は、皆様のご協力により合計115万4,234円集まりました。募金は植樹活動や森林整備、緑化に関する国際協力等の資金として活用するため、(公社)埼玉県緑化推進委員会に送金しました。

緑の募金は、募金額の50%が緑化事業推進のため実施市町村へ還元されます。町ではこの資金を、鐘撞堂山の保全整備費用等の一部に充てています。皆様のご理解とご協力、ありがとうございました。



☎ 農林課 ☎ 581・2121内線403

お知らせ ため池浸水想定区域図を 公開しています！

ため池浸水想定区域図とは、地震、豪雨等により、ため池の堤体が満水時に決壊した場合の浸水の深さや範囲を予想し、最大浸水を地図上に示したものです。

町の防災重点ため池※25カ所のうち、浸水想定区域図の作成が完了した20カ所について町公式ホームページに掲載しています。残り5カ所の防災重点ため池についても、作成が完了次第掲載します。なお、農林課でも、ため池浸水想定区域図が閲覧できますのでご利用ください。

※「防災重点ため池」とは、地震等により堤体が決壊した場合、浸水想定区域に家屋や公共施設等が存在し、人的被害を与えるおそれがあるため池をいいます。

ため池浸水想定区域図の活用方法

浸水の被害を最小限にするためには、危険個所の正確な情報を知っておくことが重要です。日頃から災害に備え、避難ルートを確認するなど、迅速な避難や災害対応の基礎情報として、ため池浸水想定区域図をご活用ください。また、地震発生時や豪雨のときは、ため池には絶対に近づかないでください。

☎ 農林課 ☎ 581・2121内線402

お知らせ 寄居とろとろナスが 収穫期を迎えました！



寄居とろとろナス研究会(新井易雄会長)では、町の特産品「寄居とろとろナス」の生産に取り組んでいます。寄居とろとろナスは青ナスの一種で、長卵型で大きいのが特徴です。加熱調理すると、果肉がとろけて、とても柔らかくなるのが名前の由縁です。町では平成30年度に商標登録し、JAふかや、県と共に新たな特産品として産地化に向けた支援をしています。町内2カ所のJAふかや農産物直売所等で販売していますので、収穫期を迎えた寄居とろとろナスをぜひ味わってみてください。



☎ JAふかや
● 男衾農産物直売所 ☎ 582・0909
● 用土農産物直売センター ☎ 584・2110

お知らせ 有害鳥獣対策に 電気柵等をご活用ください！

農作物を有害鳥獣から守る対策として、電気柵が有効です。町では、農業者等への電気柵・防護柵の購入費用の一部を補助していますので、ぜひご活用ください。詳細は本誌4月号をご覧ください。※予算額に達した時点で受付終了となります。

効果的な設置方法

地上約30cmに通電線を設置し、その下にプラスチックネットを張り巡らせることで、より効果的にイノシシやアライグマ、ハクビシンなどの侵入を防ぐことができます。農作業用の出入口を設置することも可能です。



☎ 農林課 ☎ 581・2121内線402・407